

桑江 朝千夫 市長 逝去



略 歴

- 昭和 58 年 日本大学法学部卒
- 昭和 61 年 7 月 衆議院議員小渡三郎公設秘書
- 昭和 63 年 8 月 衆議院議員渡辺美智雄私設秘書
- 平成 6 年 9 月 沖縄市議会議員(平成 6 年から 3 期)
- 平成 20 年 6 月 沖縄県議会議員(平成 20 年から 2 期)
- 平成 26 年 5 月 沖縄市長就任(第 11 代)
- 平成 30 年 5 月 沖縄市長就任(第 12 代)
- 令和 4 年 5 月 沖縄市長就任(第 13 代)

桑江朝千夫市長が、令和 6 年 12 月 9 日に 68 歳で逝去されました。

桑江市長は、平成 26 年 5 月から第 11 代・第 12 代沖縄市長を務め、令和 4 年 5 月には、沖縄市制と
なってから、父・桑江朝幸市長以来となる 3 期目・第 13 代沖縄市長に就任されました。

桑江市長は、平成 26 年の就任以降、活力あふれる沖縄市を取り戻すべく沖縄アリーナの建設や沖縄
こどもの国の魅力向上に加え、FIBA バスケットボールワールドカップ 2023 の誘致・成功や若年妊産
婦の居場所開設、こどもの貧困対策の強化・拡充、地域共生社会の実現に向けた取り組みの加速など、
ハード・ソフトの多岐にわたって、ダイナミックに、そして情熱的に行動されました。

また、先人たちが構想した東部海浜開発地区「潮乃森」にカーボンニュートラルという新たな価値を生み
出すとともに、(仮称)池武当 IC の本格的な事業化や新たな交通拠点を中心としたまちづくりに力を注ぎ、
つぎの 50 年を見据えた経済発展の礎を強固にするなど、本市の発展に多大な貢献をされました。

市長は、どんな時も、いかなる場所でも、誰よりも市民の幸福を第一に考え、慈愛と謙虚の心をもって
物事にあたり、沖縄市の成長が沖縄全体の発展につながるのだと、熱く職員を鼓舞していました。

市職員一同、桑江市長の数々のご功績に感謝と敬意を表するとともに、心からのご冥福をお祈り申し上
げます。



2017年 広島東洋カープ25年ぶり優勝でパレード



2017年 沖縄こどもの国にホワイトライオン来園



2021年 沖縄アリーナ落成



2023年 キングスBリーグ初優勝パレード



2023年 ビーチフェスタで潮乃森をPR



2023年 FIBAバスケットボール杯が沖縄アリーナで開催